

No.	大分類	小分類	意見要旨	対応
1	① 自然環境保全		<ul style="list-style-type: none"> ・鳥の調査記録については年間を通して調査をしていただきたい。また人間との共生の関係から公園のどこに鳥が来るか把握することは可能か。(赤澤部会長) ・繁殖場所、餌場、休憩の場所等を公園管理者側で把握して頂けると利活用の検討に繋がる。(澤田副部会長) 公園内のどこにどのような樹木が生えているのかの現状が把握できていない。どこを保全し、どこを変えていくかを検討することが重要である。(岩崎委員) 	<p>【ヒアリングの意見も参考にして部会等にて検討】 データ収集・公表の方法等については部会で検討を行います。</p>
2		ゾーニング	<ul style="list-style-type: none"> ・ゾーニングが重なる部分も考えられるため明確に色分けすることは困難ではないか(赤澤部会長) ・季節に応じてゾーニングを変更することは考えられるのではないかと。淡路島公園では冬にオシドリが来ることを考慮してニジゲンノモリのアトラクションを停止することがある。(澤田副部会長) ・塩田跡の生態系は特殊生態系の1つで県内ではここだけでしか見られない。揚浜式塩田は今希少な植物がいるわけではないが、そういうポテンシャルがあるため認識しておいて頂きたい。(澤田副部会長) ・眺望ゾーンについて、赤点線で示された美しい景観も大事だが冬は野鳥・夏はポートが見えるといった楽しい風景も大切である。公園の象徴的な景観保全についても検討して欲しい(赤澤部会長) ・池も何かしらのゾーンに入るのではないかと。(澤田副部会長) 	<p>【新たなゾーニング図を作成し対応】 個別の留意点等をプロットしゾーニング図Bを作成し活用します。</p>
3	② 活性化	より幅広い参画方法の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・以前は赤穂海浜公園の応援団があり。市民団体と連携して企画を行っていた。こういった応援団を復活させても面白いのではないかと。(岩崎委員) ・活動団体がおのおの離れてしまって何をやっているのか見えなくなっている。協議会の様な形で定期的に集まると良いのではないかと。(赤澤部会長) 	<p>【ヒアリングの意見も参考にして部会にて検討】 管理運営協議会の開催時期、参加方法等を検討し赤穂海浜公園を良くしようという意見を持つ方や団体がより協議の場に参画しやすい形態について検討を行います。</p>
4		情報共有	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートでは広報の満足度が低いので、適切な広報ツールを検討し広報に力を入れるべき。また県内市外の利用者が多いのでSNSのアンケート等を用いることで要望を把握することもできるのではないかと。(岩崎委員) ・トイレもきれいになっているのでそういったことを発信していけば良い(浜野委員) ・SNSとホームページで役割が異なるので双方を活用し情報提供する必要がある(赤澤部会長) ・公園での作業を楽しんでやって下さる方もいる。そのためボランティアの方向けの情報発信等を行って作業に従事して下さる方を募っても良いのではないかと。(赤澤部会長) 	<p>【管理運営協議会にて検討】 SNSやホームページを活用した情報発信の内容等について、管理運営協議会にて検討を行います。 なお赤穂海浜公園は、Facebook(フォロワー数656人)、Instagram(フォロワー数1,685人)、Twitter(フォロワー数221人)のアカウントを持っており、総フォロワー数は約2,600人となっています。 ※フォロワー数は2023年2月初旬時点</p>
5		その他	<ul style="list-style-type: none"> 鳥や昆虫が好きな方を招いて赤穂海浜公園に存在する価値について語って頂く機会を創出できると良い(梅本委員) 虫取りやバードウォッチングを行うための機材を貸出し、手ぶらで来ても公園内を楽しめるという切り口はどうか。(梅本委員) 	<p>【管理運営協議会にて検討】 具体的な取り組み方法については、管理運営協議会の中で検討を行います。</p>
6	③ その他	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・市として観光の重要資源である、塩田等老朽化施設の再整備、観覧車に代わるシンボリックな遊具の設置をお願いしたい。パークアンドライドは難しいかもしれないが、御崎地区を周遊できるような電気自動車等グリーンスローモビリティ等の活動を民間活力を使って検討して頂きたい。(明石委員) 	<p>【公園管理者、赤穂市にて検討】 園内施設に係る整備等については、公園管理者において検討を行います。また公園周辺における事業については赤穂市において主体的に検討します。</p>